

平成29年度 学校経営方針

さいたま市立木崎小学校長

本校は、今年で開校143年目を迎える歴史と伝統のある学校である。これまでも、本校を愛する学校関係者の方々の尽力によって、木崎らしい特色ある学校づくりが進められてきた。

私たち教職員は、この歴史と伝統を重く受け止めながら、結束力を高め、家庭・地域から信頼される学校づくりをさらに進めていかなければならない。昨年度の学校評価を踏まえた取組の重点に基づき、すべての教職員が一丸となって「チーム木崎」を組織し、充実した教育活動を実践する。

そのためには、子どもたちの学校生活の大部分を占める「授業」の充実が不可欠である。授業をとおして子どもたちを成長させることにこそ、私たち教職員の存在意義がある。このことを自覚し、子どもが目を輝かせて明日の授業を楽しみにする学校、教職員が協働する喜びを感じられる学校、保護者・地域の方々が子どもたちのために進んで教育活動に参加する学校を目指す。

1 学校教育目標と目指す児童像

自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成

・ すすんで考える子

確かな学力づくりと考える力の育成

…主体的に学ぶ姿勢、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力

・ れいぎ正しい子

豊かな心と規範意識の育成

…明るくあいさつ、思いやる心、感動する心、協力する心、かかわり合い

・ がんばる元気な子

心身ともに健康な子の育成

…運動に親しむ態度、体力向上、やりぬく力、基本的な生活習慣、安全な生活

2 目指す学校像

子どもが目を輝かせて、明日の授業を楽しみにする学校

- ・ 確かな授業力を発揮できる学校
- ・ 子ども一人ひとりに居場所のある学校
- ・ 組織体として機動力のある学校
- ・ 地域に開かれ信頼される学校

3 教職員の基本姿勢

- ・教育公務員であるという自覚をもち、常に学び続ける教職員
- ・子どもを真に愛し、子どもの心に寄り添う教職員
- ・子どもともに学び、ともに伸びる誇り高き教職員
- ・「チーム木崎」の一員として協働する教職員

4 取組の重点

(1) 「おもしろい授業」への挑戦

- ①アクティブラーニングの視点からの授業改善
- ②「学力アップタイム」による基礎基本の徹底
- ③探究的な活動の充実
- ④言語活動の推進
- ⑤OJT (On the Job Training) を意識した研修

(2) あいさつと笑顔のふれ合い

- ①子どもウォッチングによる深い児童理解
- ②道徳教育の推進
- ③「心のホットラインデー」の活用
- ④生徒指導・教育相談体制の充実
- ⑤交流および共同学習の実施

(3) 健康的な生活習慣づくり

- ①運動に親しむための体育授業や体育的活動の充実
- ②「体力アップタイム」「保健の日」の活用
- ③基本的な生活習慣の確立に向けた取組の重視
- ④健康教育、食育の充実

(4) 安心・安全で豊かな教育環境の整備

- ①モクピカ清掃の徹底
- ②美化環境の充実
- ③彩りある掲示の工夫
- ④生命尊重と安全教育の推進
- ⑤緊急時の迅速対応
- ⑥施設設備の安全点検の徹底

(5) 家庭、地域と連携した「共育」の推進

- ①学校関係団体との一層の連携強化
- ②地域での学びを生かした活動の推進
- ③学校情報の積極的な発信